

～ 遠野ボランティアセンターを通しての活動報告 ～

2011年10月4日

福岡地方バプテスト連合 災害対策窓口

今日は、釜石市へと車で視察に向かいました。県道35号線を通って向かっている途中で、山間のところに仮設住宅が複数箇所ありました。不思議に思ったのですが、ここは海岸から5キロ以上も離れた場所です。

それからもう少し下って事情が分かりました。(国道283号線を通った方がスムーズに行けます。県道35号線は山道です。)



こちらの家は、河口から3キロにある家なのですが、津波が川を遡ってきて、この家は床上浸水したために、床などをはがして、袋に詰めて家の周囲に置かれていました。

家のご主人にお話を伺いましたが、この歳になってこんなことが起きるとは、想像もしなかったと言われました。

釜石市の鵜住居町は、河口から1キロに広がる地域ですが、津波に飲み込まれて、住居の基礎部分しか残っていませんでした。そして、コンクリート造りの建物がポツン、ポツンと点在していました。息をのむ光景でした。





釜石市の市街地に入ると、港に大きな船が打ち上げられたまま置かれてありました。

今度の地震による津波の力の大きさを思い知らされる光景でした。

この船は、2300トンほどあります。

釜石市の両石町にある防潮堤防と、その内側に積まれた瓦礫です。瓦礫が山積みされているところが、複数箇所ありました。



こちらは、大槌町です。沿岸部の家々は、津波によって呑み込まれてしまいました。

日本バプテスト連盟の遠野ボランティアセンターを借りて、日本バプテスト宣教団のメンバーによって、ベンチが作られています。



今日は、女性のメンバーも2名参加されていました。そのうちの1名がペンキ塗りをされていました。

これが、完成したベンチです。これを仮設住宅に届ける予定だそうです。とても、丈夫な作りになっています。





神奈川県地方連合から 6 名の牧師と信徒の方々が、ボランティアとして来られました。

10 月 7 日（金）まで滞在して、まごころネットの活動や、仮設住宅への物資の配達と交流の奉仕が予定されています。

遠野まごころネットには、ボランティア活動の「求人」が掲示されていました。短期、中期、長期というように区分して掲示されていました。

